

海外導入馬の一般公開について

農用種雄馬の純粋種については、国内では入手が困難な状況にあることから、家畜改良センター十勝牧場では、公益社団法人日本馬事協会の事業を活用し、昨年11月にフランスより農用種雄馬2頭（ブルトン種、ペルシュロン種各1頭）を導入しました。

導入後、疾病等の有無の検査や3ヶ月にわたる検疫期間後の種雄馬としての馴致・調教が終了し、晴れて当场繋養馬として改良業務への活用や農用馬生産者への精液の配布ができるようになりましたので、下記のとおり一般公開致します。

記

1. 公開日時：平成30年4月6日（金） 14時から1時間程度
2. 内 容：導入馬を含む種雄馬7頭を展示
3. 場 所：家畜改良センター十勝牧場 馬基地 種馬厩舎
4. 参集範囲：農用馬生産者、農協等関係者、報道関係者 等
5. 注 意 点：取材に来られる場合は、家畜防疫の観点から事前に連絡をいただくとともに、当场係員の指示に従ってください。

(参考URL <http://www.nlbc.go.jp/tokachi/>)

【お問合せ先】

独立行政法人家畜改良センター十勝牧場
〒080-0572
北海道河東郡音更町駒場並木8番地1
電 話：0155-44-2131
FAX：0155-44-2215
連絡先：業務第二課 久保、田中

「日本の食卓 改良と技術で守ります」
～小さなタネから大きなウシまで～